

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	葬祭場管理運営事業				財務会計上の事業名	葬祭場運営事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	3	9	1	1	担当部署名	総合窓口課
総合計画の体系	章	第3章人・環境に優しい安全・安心なまち				
	節(施策)	第9節安心して任せられる葬儀				
	項目	項目1 市営葬儀の充実				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	葬祭場、火葬場、桃園墓地の適切な管理運営を行う。
めざす姿(目標)	指定管理者制度により、市営葬儀の多様化に対応し、市民サービスの向上を図る。
事業の対象(誰を、何を)	市営葬儀及び墓地使用权者並びに墓参者
事業の手段・方法(どのように)	指定管理者による維持管理業務
実施形態(直営/委託)	全部委託
関連計画	池田市葬祭条例

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値 (活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時 (H30年度)	実績 (R元年度)	目標値 (R4年度)	
	(決算)	(決算)	(予算)						
事業費(千円) A	83,883	37,618	38,711	市営葬儀件数	440件/年	440件/年	461件/年	500件/年	
主な内訳	指定管理料	56,530	10,745						10,745
	火葬場業務委託料	15,628	15,773						15,917
	小動物処理等業務委託料	4,264	3,584						3,617
☆成果の達成状況					A.順調に推移している				
財源	国・府支出金	306			・上記「達成状況」選択の理由	葬儀の相談窓口開設回数を月1回から月2回に拡充した。			
	地方債								
	その他(斎場使用料等)	62,752			☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)			
	うち受益者負担 B	62,752			☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)			
	一般財源 C	20,825	37,618	38,711	・上記「有効性・効率性」選択の理由	平成30年度の件数を上回っているため。			
一般財源比率 C÷A	24.8%	100.0%	100.0%						
受益者負担率 B÷A	74.8%								

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>葬儀の形態が家族葬や直葬など費用を掛けない葬儀が主流となってきている。令和元年度において、市内の死亡者数は963人であり、市営葬儀件数は461件(内市外住民20件)で約4.6%と低水準である。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>近年池田市にも民間の葬儀業者が増えてきており、市営葬儀の件数も伸び悩んでいる。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 民との差別化を考えながら指定管理者と協議等を行っていく。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	葬祭場改修事業（火葬炉）				財務会計上の事業名	葬祭場管理事業
第3期実施計画の区分章/節（施策）/項目/事業番号	3	9	2	1	担当部署名	総合窓口課
総合計画の体系	章	第3章人・環境に優しい安全・安心なまち				
	節（施策）	第9節安心して任せられる葬儀				
	項目	項目2施設の改修				

2 事業の概要

実施期間（第3期実施計画期間）	令和元年度～令和4年度
事業内容	老朽化した葬祭場や火葬場を改修する。
めざす姿（目標）	炉の改修を行い、長寿命化を図る。
事業の対象（誰を、何を）	市営葬儀
事業の手段・方法（どのように）	火葬及び市営葬儀
実施形態（直営/委託）	全部委託
関連計画	池田市立火葬場条例、池田市葬祭条例

3 事業費等

区分	H30年度 (決算)	R元年度 (決算)	R2年度 (予算)	指標値 (活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時 (H30年度)	実績 (R元年度)	目標値 (R4年度)
	事業費(千円) A	21,003	26,389					
主な内訳	火葬炉設備修繕	15,336	11,232	6,400	汚物炉修繕	—	完了	完了
	火葬炉動力制御盤改修工事		11,385		動力版交換	—	完了	完了
					炉煉瓦部分補修	—	完了	完了
☆成果の達成状況					A.順調に推移している			
財源	国・府支出金		228		・上記「達成状況」選択の理由	修繕等が完了したため。		
	地方債							
	その他（火葬使用料等）	21,003	18,555	9,839	☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である（改善の余地がない）		
	うち受益者負担 B	21,003	18,555	9,839	☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である（改善の余地がない）		
	一般財源 C		7,606		・上記「有効性・効率性」選択の理由	達成したため。		
一般財源比率 C÷A		28.8%						
受益者負担率 B÷A	100.0%	70.3%	100.0%					

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化（社会情勢・ステークホルダー・要望等）</p> <p>1 炉ずつ全面改修工事を行い炉の延命化を図ってきた。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>各炉煉瓦等の全面改修を行ったが、耐久年数満了を間近に迎えており炉の入れ替えが必要である。</p>	<p>課題を踏まえた今後（令和3年度以降）の事業の方向性</p> <p>現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 炉の部分修繕を行いながら、令和7年以降の炉の入れ替えに備える。</p>